

在宅医療支援システム研究会次第

日時 令和5年8月29日（火）

18時30分～

場所 介護老人保健施設くろかみ 研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告、情報提供

① 新型コロナワクチン 令和5年秋開始接種のお知らせ(新見市健康医療課)

② ケアキャビネット意見交換会の報告(新見医師会)

③ 研修会の報告(まんさく)

- ・ 8/24(木) 第2回多職種連携・人材育成研修会
「ACPのプロセス、意思決定支援について」
参加者 49名(スタッフ含む)

④ 今後の研修会(まんさく)

- ・ 9/9(土) 令和5年度第1回認知症研修会(一般市民対象)
「認知症の方の家族の話を聴こう」
- ・ 9/28(木) 岡山県医師会 移動会長室事業 「フレイル」

4 協議事項

- ・ 認知症ケアパスについて

- ・ 11/30(木) 市民研修会 ACP 普及啓発

次回開催日

令和5年 月 日()

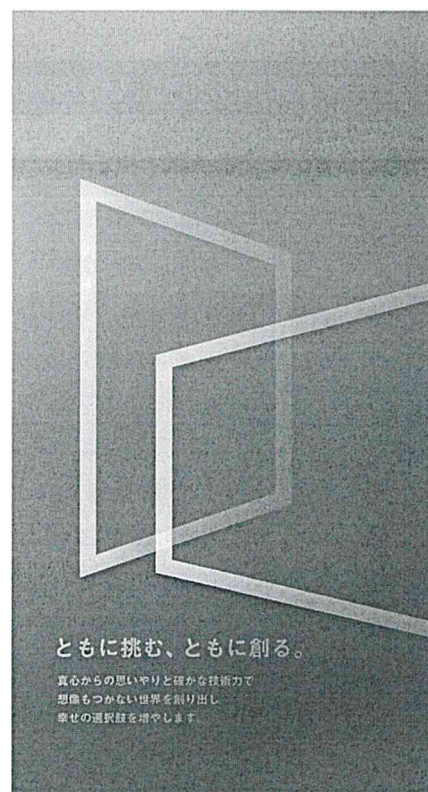
ケアキャビネット意見交換会 資料

2023年8月21日

ヘルスケアソリューションカンパニー 医療ビジネス事業部

 **RYOBI SYSTEMS**

Copyright 2023 Ryobi Systems Co., Ltd. All Rights Reserved.



本日の意見交換について（8/21 13:00～15:00）

1. 参加者ご挨拶・自己紹介
2. 現在の活用状況についてご意見・ご紹介等
（福嶋先生・藤井先生・池ノ上様・米田様より）
3. ケアキャビネットのご紹介（新機能・他地域での事例等）
4. 意見交換
（参加者全員の方に順番に一言いただいた後に、議論するテーマを決めさせていただきます。）
5. 次回開催について

1. 本日の参加者（敬称略）

NO	所属	氏名	NO	所属	氏名
1	総社市長寿介護課	野瀬 明子	13	福嶋医院	福嶋 啓祐
2	総社市長寿介護課	國光 純子	14	藤井クリニック	藤井 基弘
3	新見市福祉部介護保険課認定調査係	高田 晃輔	15	寿光園居宅介護支援事業所	池ノ上 章
4	新見医師会	山下 裕美	16	居宅介護支援事業所 清音	米田 昌紀
5	高梁市地域包括支援センター	森本 敦	17	岡山県訪問看護ステーション連絡協議会	菅崎 仁美
6	浅口市高齢者支援課	滝澤 康恵	18	岡山博愛会病院	
7	浅口市高齢者支援課	山下 扶恵	19	岡山県医療推進課	安藤 恭治
8	里庄町健康福祉課	内田 恵子	20	真庭保健課	石原 雅代
9	備中保健所	唐井 幸子	21	備北保健所	柳川 美香
10	備中保健所	大島 友佳子	22	備北保健所新見支所	小椋 泉
11	井笠保健所	河辺 暁美	23		
12	井笠保健所	澤井 萌	24		

※岡市様・井原市様は欠席、岡山博愛会病院様・安藤様・石原様・柳川様・小椋様はWEB参加となります。

2. 現在の活用状況についてご意見・ご紹介等

現状の活用状況や課題、今後に対するご要望等をお話いただけますでしょうか。

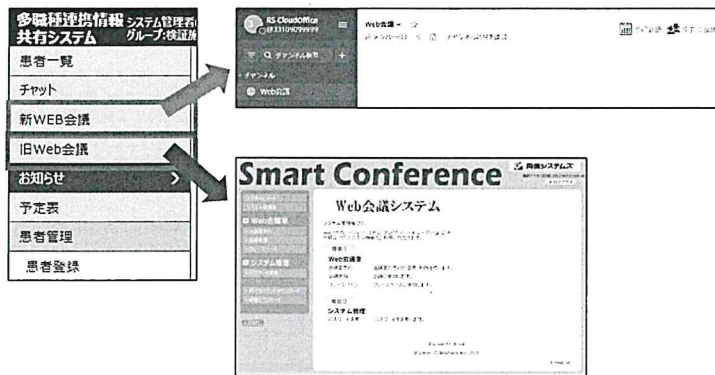
- ① 福嶋先生
- ② 藤井先生
- ③ 米田様
- ④ 池ノ上様（投影資料有）

3. ケアキャビネットのご紹介（新機能・他地域での事例等）

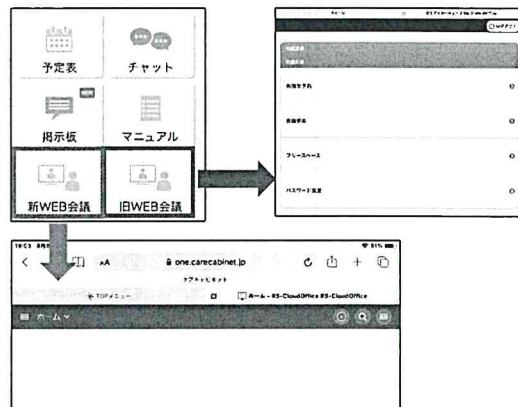
①WEB会議システムについて（メニューの変更）

8月末（提供日程調整中）より、新しいWEB会議システムを提供いたします。
 但し、移行期間として当面（年内を予定）は現行システムも利用可能な形とします。
 （「新WEB会議」と「旧WEB会議」の2つのメニューが表示されます）

【パソコン利用時】



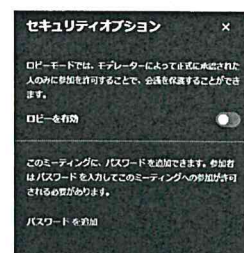
【iPad・iPhone等利用時】



3. ケアキャビネットのご紹介（新機能・他地域での事例等）

②新WEB会議システムについて（概要）

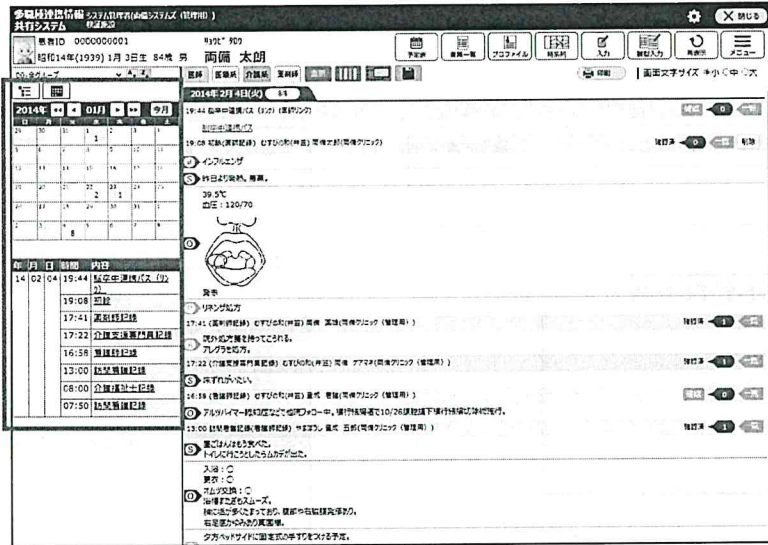
- ・アプリのインストールが不要となり、利用機種としてMacパソコンでの利用も可能となりました。
- ・会議参加時に参加者氏名の変更が可能となりました。
- ・画面共有やチャット機能だけでなく、主催者がブレイクアウトルームを作成してグループ討議や背景（ぼかしや画像等）の登録・参加者のリアクション機能等、会議参加時の機能を充実させています。
- ・セキュリティ強化として、主催者での承認機能やパスワード参加機能も実装しています。



3. ケアキャビネットのご紹介（新機能・他地域での事例等）

③患者記事画面のカレンダー表示機能（パソコン版）

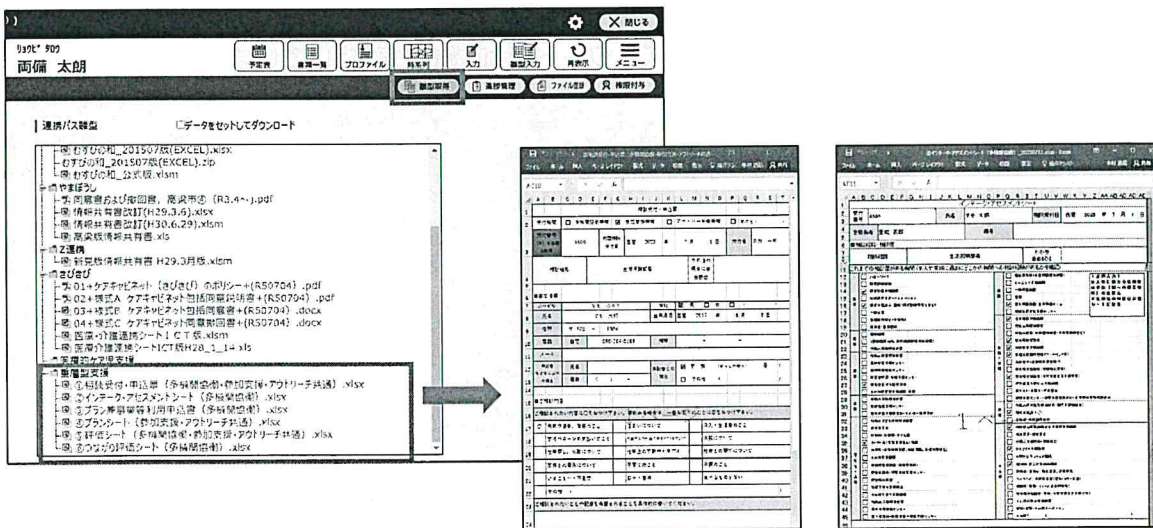
患者記事画面にカレンダー表示機能を追加しています。カレンダー画面にて記事の有無が確認できます。カレンダー画面で記事を確認したい日を選択すると、選択された日の記事内容が表示されます。



3. ケアキャビネットのご紹介（新機能・他地域での事例等）

④雑形書類に重層型支援関連の書類を追加（パソコン版）

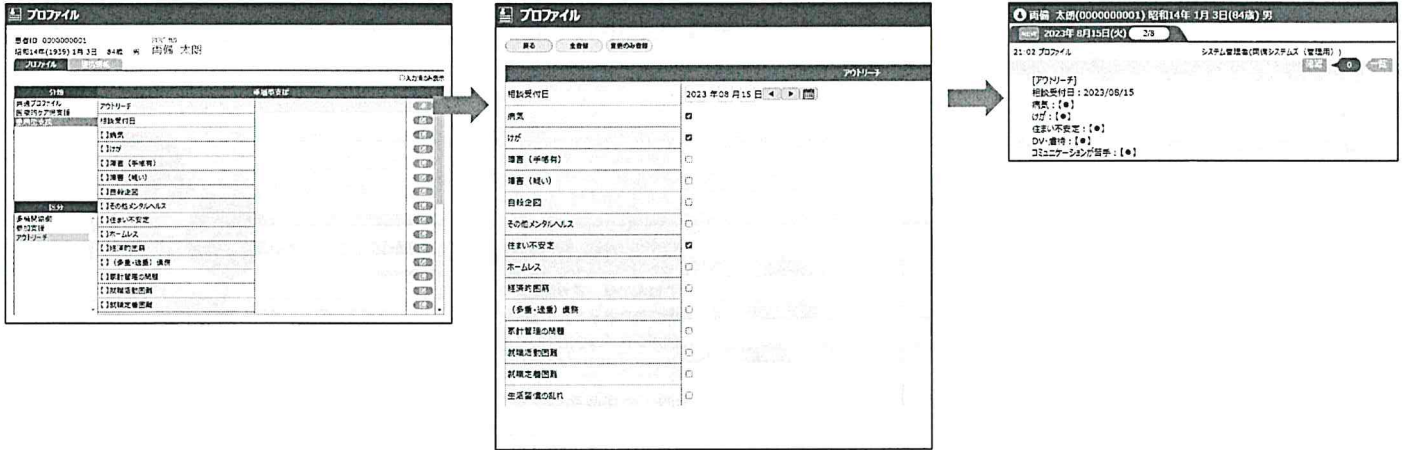
雑形書類に重層型支援の書類（申込票・アセスメントシート等）を追加しています。活用方法に関しては、今後利用検討をされる地域様と検討していきたいと考えています。



3. ケアキャビネットのご紹介（新機能・他地域での事例等）

⑤ プロファイル項目に重層型支援関連の入力内容を追加

プロフィール項目に重層型支援の入力内容を追加しています。入力内容を記事に反映させる事も可能です。活用方法に関しては、今後利用検討をされる地域様と検討していきたいと考えています。



3. ケアキャビネットのご紹介（新機能・他地域での事例等）

⑥ 医療的ケア児支援機関における多職種情報連携システム活用

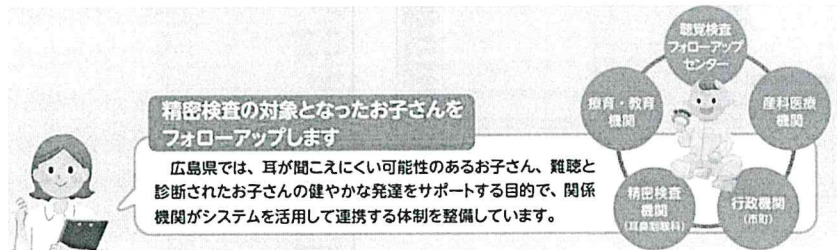
旭川荘の各施設（平田診療所、旭川児童院短期入所、相談支援事業所、地域療育センター、ひらたえがお保育園、ひらた通院センター）で医療的ケア児に対してケアキャビネットを活用して多職種情報連携の検証を香川大学様と一緒にしています。10月に開催されるの第48回日本重症心身障害学会学術集会においても発表いただく予定です。



3. ケアキャビネットのご紹介（新機能・他地域での事例等）

⑦広島県様での新生児聴覚検査結果情報の多職種連携

- ・ケアキャビネットのプロファイル機能を活用して、精密聴力検査の対象となる子どもの情報を一元化して迅速に情報共有を行い、早期支援に繋げる事を目的に2023年4月から運用開始しています。
- ・一定期間経過しても二次検査又は精密検査を受診したことが登録されていない場合、療育・教育開始した事が登録されていない場合等の情報を抽出して、未検査児を取りこぼさないための仕組み作りを行っています。

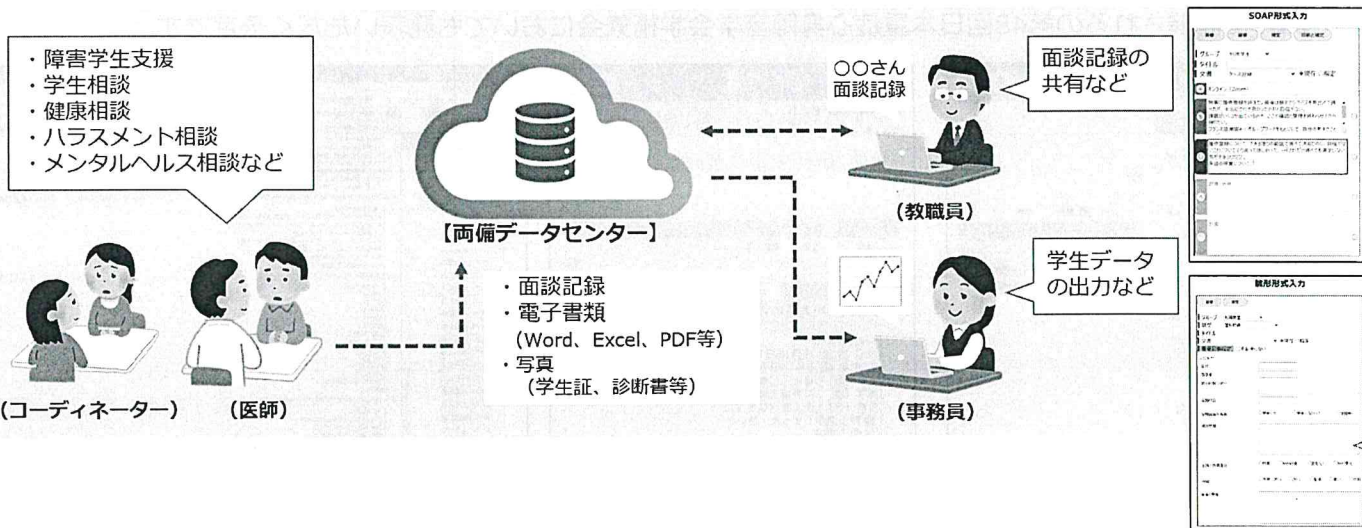


出典：広島県子供未来応援課様HPより
https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/life/890501_8277552_misc.pdf

3. ケアキャビネットのご紹介（新機能・他地域での事例等）

⑧京都大学DRC（学生総合支援機構 障害学生支援部門）様での障害学生支援情報管理

支援ケース毎に相談支援の記録を電子ファイル（WORD・EXCEL等）で作成・保存していましたが、個々の支援記録をより効果的に整理・分析する事を目的にケアキャビネットを導入・活用いただいています。



4. 意見交換

参加者全員の方に順番に一言いただいた後に、今回参加者の方々と意見交換するテーマを決めさせていただきます。
(テーマを決めなくて雑談の時間になっても良いと思っております)

初めての対面での会話となりますが、ぜひ活発な意見交換をお願いいたします。

5. 次回開催について

今後も、今回のような意見交換の場を設けさせていただき、広域連携・多職種連携・地域包括ケアシステムにおける交流の輪を広げていきたいと考えております。

次回の開催方式や時期、参加者等についてご意見をお願いいたします。

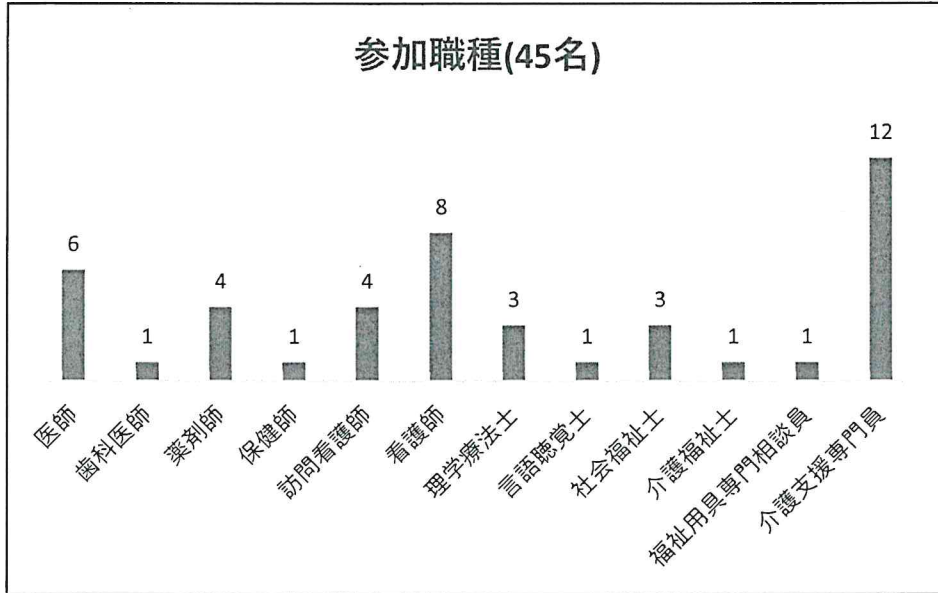
ともに挑む、ともに創る。

真心からの思いやりと確かな技術力で
想像もつかない世界を創り出し
幸せの選択肢を増やします。

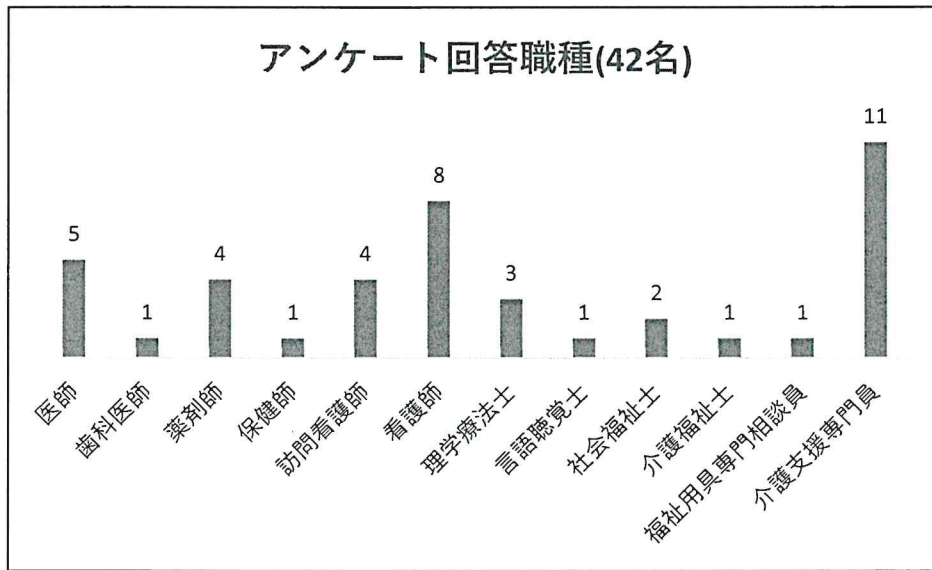
 **RYOBI SYSTEMS**

令和5年度第2回多職種連携・人材育成研修会 研修後アンケート集計

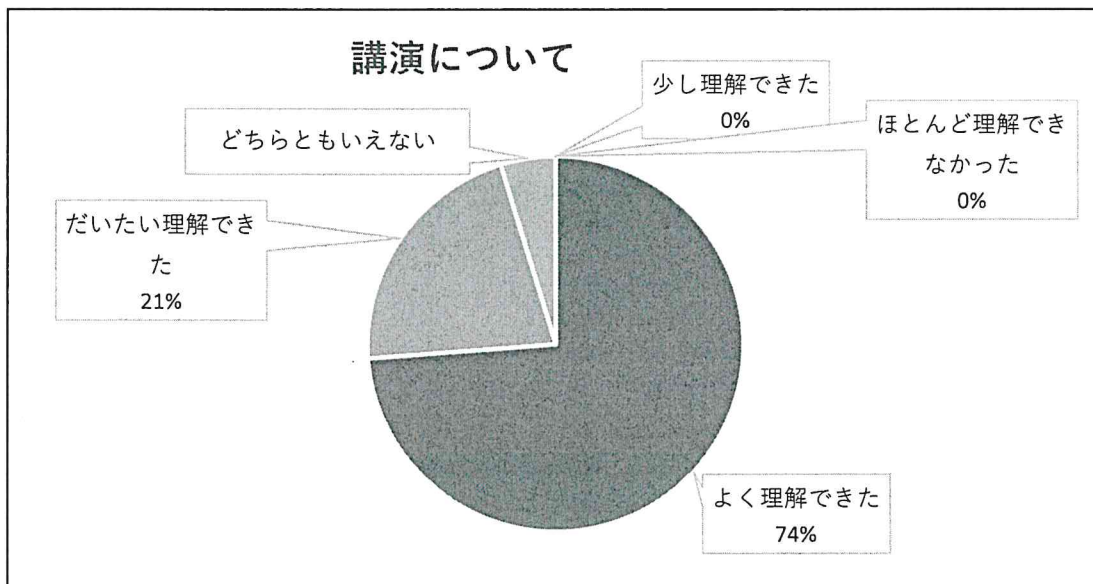
★ 参加者の職種



1 アンケート回答者の職種



2 講演について



① 「よく理解できた」を選んだ理由

- ・よく伝わりました。皆さんのご苦勞がわかりました。
- ・事例を元に話をしてくださったので、わかりやすかった。
- ・判断できるうちに話しておかないと難しい。なるべく早いうちから話し合っていきたい。
- ・事例を通して、その職種の立場の思いなど知ることができた。
- ・それぞれの事例を通して聴くことで分かり易かった。
- ・身近に関する講演で、医療のバックアップが家族に対してあることをよく理解できた。
- ・ACP についてよく理解できました。
- ・思いがそれぞれに伝わるものでした。
- ・自分の経験と重なる部分が多かった。また、ACP というものを改めて考えることができた。
- ・ACP は医療・介護従事者全員が関わるものということがよくわかりました。
- ・実例もあってわかりやすかった。
- ・症例があったことで、より身近なこととして考えられた。
- ・ACP について分かり易く、再確認できた。
- ・医師からは基本とポイントをしばってお話ししていただいた。現場の事例を出していただき、深まった。
- ・色々な立場からのお話して、多職種の方々の取り組みや考え方が良く分かりました。
- ・一步踏み込んで話を聴くことや具体的な事例もあり、共感もでき、また改めて学習となったこと。
- ・皆様、対象者に真剣に向き合う中での取り組みの難しさも感じたが、人を支える中では大切なことだと実感できた。
- ・ACP について考える機会を得ることができました。
- ・日々、真剣に考え、取り組まれていることが、とても伝わった。
- ・病院での苦惱がよく分かった。

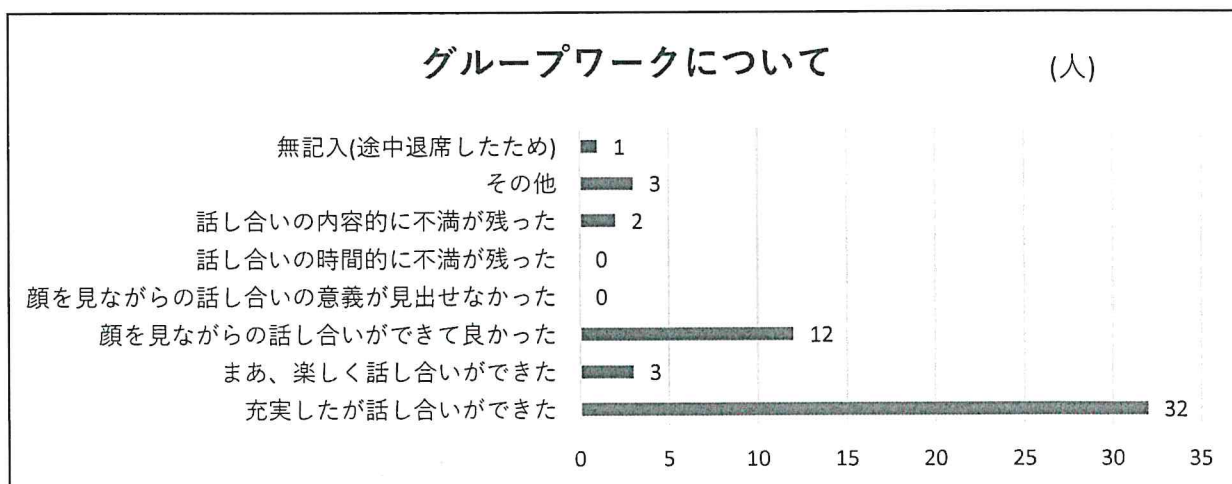
② 「だいたい理解できた」を選んだ理由

- ・考えていかないといけないことだったので、いい学びになった。他病院や訪看の話が聞けて良かった。
- ・意思決定のタイミング、方法について考える良いきっかけとなりました。
- ・遅刻してしまいましたが、丁寧で分かり易い講演で助かりました。
- ・実例もあげながら、わかりやすく説明された。

③ 「どちらともいえない」を選んだ理由

- ・今日まで ACP を全然理解していませんでした。AD とはちがうけど、どうしたらいいのかフレームワークがわかりませんでした。この会で話を聞いて分かったり、疑問や自分の意見ができて、これから勉強しようという気持ちになりました。
- ・それぞれの職種の体験などを通して、共感や学びができました。

3 グループワークについて



①「充実した話し合いができた」を選んだ理由

- ・それぞれの立場での意見は説得力がある。
- ・色々な職業の人と話し合えて良かった。
- ・対面して意見を出し合う従来の形のGWで盛り上がった。
- ・他の人の意見が聞いて参考になった。知らないことを知れた。
- ・多職種の方と話のできたので、とても有意義でした。
- ・自分にはない考え方が聞けた。
- ・色々な職種が集まる中で話が色々聞けて良かった。
- ・各職種の考えが様々で参考になった。
- ・普段話せない先生と話がしっかりできました。
- ・職種を超えて、フランクに話ことができました。
- ・皆さんの意見が聞いて良かった。色々な職場からの話が聞けた。
- ・各職種での視点で共通の考え方、専門的な捉え方を学びました。
- ・病院内外の意見が聞けた。
- ・多職種の意見が聞けた。
- ・それぞれの価値観を共有できる機会になりました。
- ・色々な職種で話し合えた。
- ・意見を深めることができました。
- ・自分にはない考えが聞いて良かったです。

③「顔を見ながらの話し合いができて良かった。」を選んだ理由

- ・久しぶりで良かった。
- ・普段接することのない職種の方の意見が聞いて良かった。
- ・久しぶりに顔を見ながら他の職種の方と話ができてよかった。
- ・話をあまりしたことがない職種の方とも話のできた。それぞれに視点や経験が違ってとても勉強になった。

⑥「話し合いの内容的に不満が残った」を選んだ理由

- ・話し合うテーマを1つに絞っても良かったと思う。
- ・一人でしゃべりまくって、みんなだまってしまいました。みんなで考えなきゃ！じゃましてしまった。

⑦「その他」

- ・リモートでも顔を見ながらでも意義があると思いました。
- ・感染防御の観点から言えば、何らかの対策はした方が良かったかなと思います。コロナは5類になり公表されなくなりましたが依然として感染者は多いです。
- ・オブザーバーです。(医師)

4 「ACPについて考えたこと」「今後ACPについてどうかかわっていきたいか」「自分の仕事(職種)で取り入れたいこと」など

- ・積極的に取り組まないといけないと思った。感情が揺らぐというのは絶対あると思うので、そのケアをできるようにすることは大切だと思います。
- ・ACPといわれなくても病院ではそれぞれなりの話し合いをしながら、退院支援をしているが難しく考えずに自分はどうしたいか？という軽い気持ちで話ができ、それを記録していればそうなのかなと思った。
- ・ACPは自身、家族とも必ず対応しなければならない事柄だとわかった。業務の中でACPに関わるのは職種によっては難しいが、助力になればよいと思った。
- ・入院時に「延命」に関して、意思確認するのですが、担当ケアマネにその情報がフィードバックされ

ると、退院後の在宅支援に役立てることができるかなと思いました。共有書に記載が無理なら、何らかの形で。

- ・高齢者の方は人生の先輩であり、その方に対して私たちは失礼のないように時間をかけて話を聞いていく必要があると思います。ACPという言葉が難しく考えずに家庭での話題にしていくことも必要なのでは。一人暮らしの高齢者では意思決定ができない。家族の意志になってしまうような気がします。
- ・本人が意思決定の可能な時期で、①健康な時期と②初期の有病の段階の2度にかけて聞くのがいいと思った。
- ・意思決定支援について理解できたことは良かったと思える。ACPについてなかなか難しいことではありますが、行って行かなければいけないことです。プロセスなどを学び、実践していきたいと考えています。
- ・我々は仕事柄ACPについて考える機会がありますが、一般的にはまだ広まっていないのかもしれませんが。訪問時に「ACP(人生会議)って聞いたことはありますか?」と尋ねてもいいかもしれません。ACPはその人の価値観や人生観など大きくとらえたものと、いざという時にどうしたらいいかというACPを2つに分けて考えた方が分かり易いと今日の研修を終えて思いました。
- ・ACP、人生会議と言う名前ですが、支援者側は看取りへ寄ってしまいがちですが、どう生きるかを元氣なころから家族で話し合っておくことで、万が一の時の話が家族間でもしやすいため、家族に伝えていきたい。
- ・気軽に何でも話せる関係づくりをしていきたいです。
- ・ACPの理解はあまりできていなかった。しかし、本日の研修にてそれぞれの職種の立場での考えや思いを知ることでACPの大切さを知ることができました。意思決定の支援で自分に何が出来るかを考えた時、やはり関わりを積み重ねて、ゆっくりと時間をかけて話を聞くことが重要だと感じました。今までなかなか踏み込めないことではありましたが、今後少しずつ本人の意思を聞いていこうと思います。
- ・しっかり話をきき、本人の望む最期が迎えられるように支援していきたい。
- ・多くの職種の方が身近に寄り添う考えを持っていることを利用者様に伝えることができると思いました。
- ・ふだんのかかわりを大切にしながら、個人個人の思いを聞き取りしていきたいです。
- ・ふだんから、リラックスした時にお話をうかがいたいです。
- ・職種上、どうしても看取りに寄った「どう最期を迎えたいか」という捉え方になってしまうが、「どう生きたいか」という視点でもしっかり考えたいと思う。
- ・病院への入院のタイミングが、現時点ではACPを考える機会になっているので、「どう生きたいか」ということを小さなことでも聞き取りできればと思いました。
- ・看護師としてACPを考える前に、一個人として自分の生き方について考えていくことも大切だと思いました。
- ・臨床に出て2年の経験しかしておらず、ACPという単語を初めて聞きました。内容を聞いてみると、深く重い内容でした。ですが、提供する側として、良い意味で深く考え込まず、提供した方がよいのではと思いました。
- ・ACPについてはまだまだ勉強不足。今回のような講演は、医療・介護職のみならず、住民にとってもやさしいACPの考え方、方法だったので大変共感もてました。
- ・現在高齢の方と話をする機会が多くあるので、今後につなげていきたいと思いました。
- ・難しい話題なのでいつも寄り添っていくことが本当に大切だと思います。医療者も本津に心病むことだと思います。そのためにも本日のような研修を続けていくことが大切だと思いました。
- ・病院の中では関われない方々とお話しができて良かったです。担当者会議に出席できるようにしたいです。

認知症の人の 家族の想いを聞く

この研修会は、認知症の妻を介護してこられた家族の方による講演です。認知症の進行により様々な悩みを家族で乗り越えた体験を講話いただきます。

また、認知症の人と関わる時のポイントや、家族の気持ちの変化など、認知症専門医の講話もあります。

【開催日時】

令和5年9月9日（土）

13：30～15：30

【場所】

新見市役所

南庁舎3階大会議室

申し込み 必須

☎ 0867-72-6209
新見市役所 介護保険課



認知症市民研修会

参加
無料

定員：50名

主催：備北地域認知症疾患医療連携協議会 新見部会

共催： 新見市 NIIMI CITY 介護保険課 地域包括支援センター

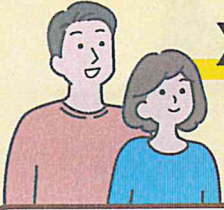
第1報

〈 新型コロナワクチン接種 〉

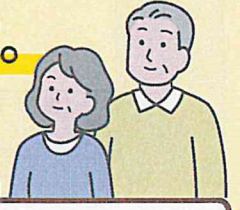
オミクロン株 (XBB.1.5) に対応した ワクチンの接種が開始されます。



9月20日以降、希望するすべての方を対象に XBB対応ワクチンの接種が始まります。

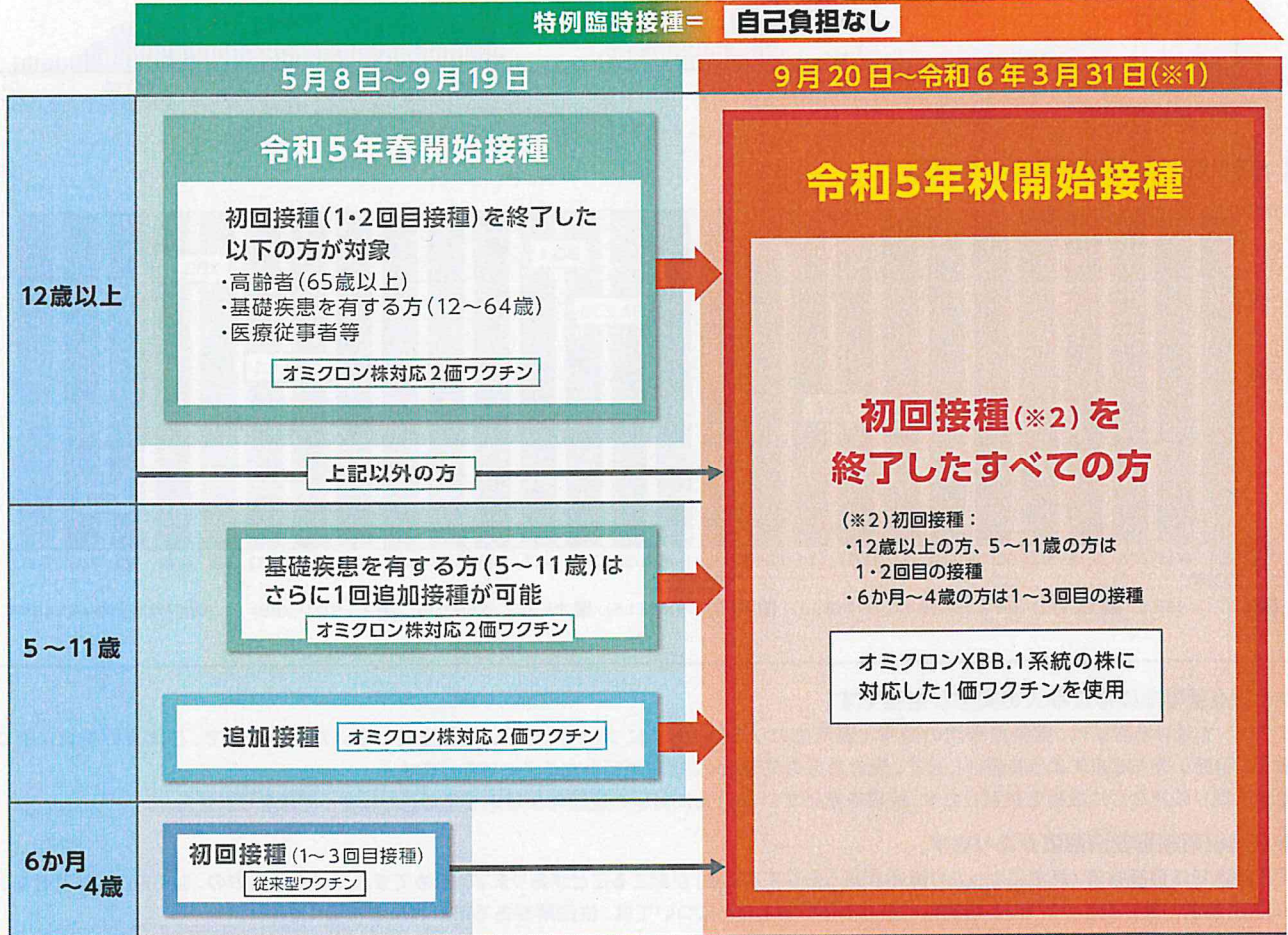


詳しくは市町村からの案内をご確認ください。



オミクロン株 (XBB.1.5) 対応ワクチン接種対象と接種開始時期

- 9月20日以降、生後6か月以上のすべての方に対して、新型コロナのオミクロン株 (XBB.1.5) に対応した1価ワクチン (XBB 対応ワクチン) の接種を行います。
- 初回接種がまだの方は、XBB 対応ワクチンでの初回接種を受けてください。



注：接種回数や接種証明については、お住まいの市町村にお問い合わせください。

(※1) 特例臨時接種の実施期間は令和6年3月31日までです。

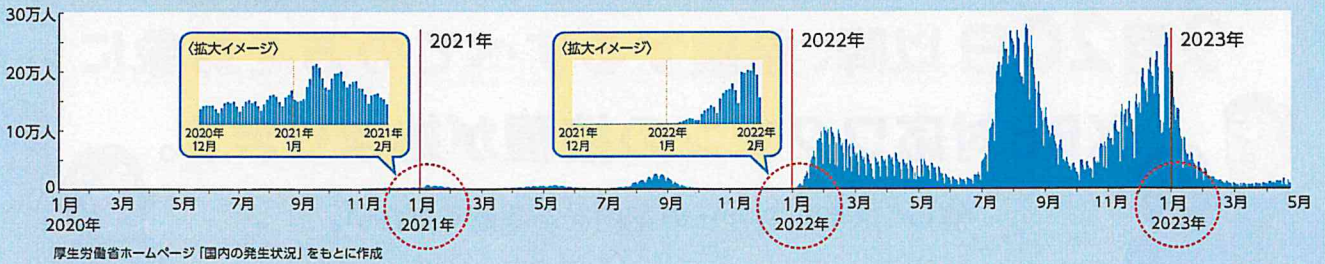
初回接種がまだの方

9月20日以降、初回接種のワクチンも XBB 対応ワクチンになります。詳しくは自治体にご確認ください。まずは、初回接種を受けてください。

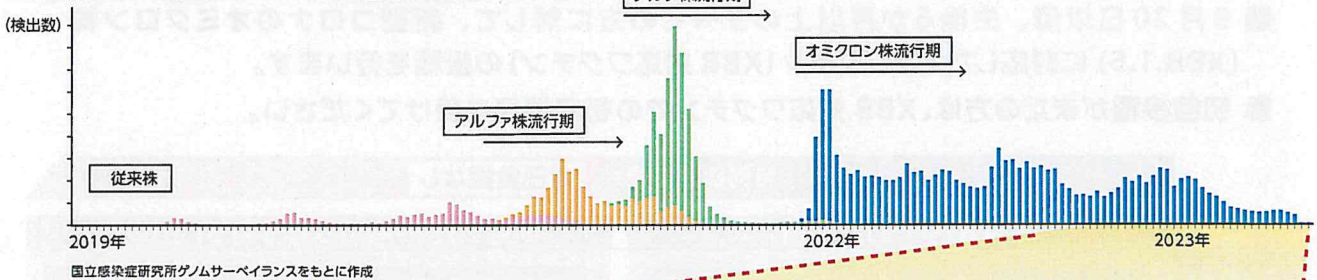
これまで3年間、年末年始に新型コロナは流行しています。

令和5年秋以降、重症化リスクの高い高齢者等にはXBB対応ワクチンの接種をおすすめします。
若い方にも接種を受けていただけます。

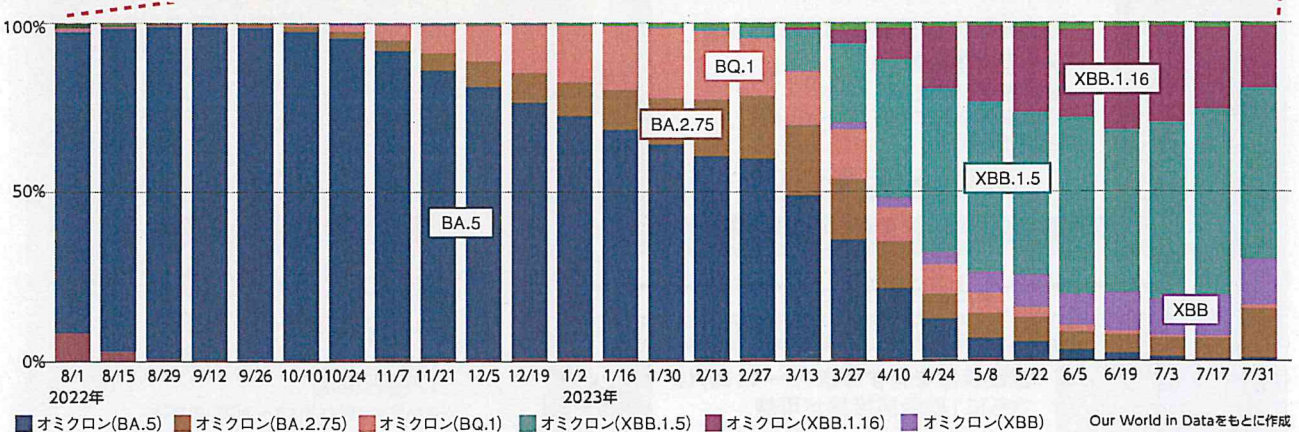
〈日本国内の新規感染者数(1日ごと)〉



〈日本における新型コロナウイルス変異株の変遷(イメージ)〉



〈オミクロン株の亜系統の移り変わり〉



◎ワクチンを受けるにはご本人の同意が必要です。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

◎予防接種健康被害救済制度があります。

予防接種では健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省ホームページの「新型コロナワクチンについて」のページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン

検索



ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

おれんじ通信にいみ

R5.9.1
発行



New!!

「おれんじカフェ😊 おおさ」が再開しました

コロナの流行により休会となっていた、旧「ほっとカフェわきあいあい」が名前も改め再開されました。この日はグループホームわが家で近所の方々が中心に参加され、脳トレを交えたレクリエーションや字合わせカードなどで交流しました。スタッフのみなさんが、お揃いのオレンジのポロシャツで迎えてくださり、手作りののれんや看板がとても目を引きました。季節の花や、手作りのお土産などアットホームな雰囲気、参加者の皆さんも楽しくお話されていました。次回からは、桜田荘で開催予定です。ぜひ、ご参加ください。

おれんじ
カフェ
おおさ

【開催日時】
日 時：9月28日(木) 12月21日(木) 13:30～15:30
会 場：桜田荘
参加費：100円
【問い合わせ】
小規模多機能ホームわきあいあい(大佐) ☎98-3737



新見市内のオレンジカフェ(認知症カフェ)

ほっと
カフェ
ぱえむ

【開催予定】
9月22日(金) 13:30～ お茶屋町集会所 11月24日(金) 13:30～ お茶屋町集会所
10月20日(金) 13:30～ 新見公民館 12月25日(月) 13:30～ 新見公民館
参加費：100円
【問い合わせ】
グループホーム花みずき(高尾) ☎71-3030

ピオーラ
カフェ

【開催日時】
日 時：奇数月第4水曜 13:30～
会 場：新見市地域福祉センター
参加費：200円
【問い合わせ】
新見市社会福祉協議会(金谷) ☎72-7316

カフェ
きらめき

【開催日時】
日 時：毎月第1水曜 13:30～
会 場：きらめき広場哲西
参加費：200円
【問い合わせ】
NPOきらめき広場(哲西町矢田) ☎88-8112

「おれんじ通信にいみ」では、新見市内の認知症カフェの活動を中心に、認知症に関する情報を紹介しています。これまでに発行した通信は、新見市ホームページでご覧になれます。

『認知症』になっても安心して暮らせるまち にいいみ



認知症は
誰もがなりうる病気です

大切なのは
早めに相談することです

早めに発見することで
認知症になるのを遅らせます
なっても進行を緩やかにします

check!!

認知症サポーター養成講座

認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族を温かく見守る応援者である認知症サポーターを養成します。

開催日時：令和5年10月6日(金)
14:00~15:30

開催場所：新見市役所南庁舎
1階1C

定員：30名

check!!

認知症市民研修会

認知症の妻を介護してこられた家族の方による講演です。様々な困難を乗り越えてこられた体験を講演いただきます。

開催日時：令和5年9月9日(土)
13:30~15:30

開催場所：新見市役所南庁舎
3階大会議室

定員：50名

※ いずれも、新見市地域包括支援センターに事前申し込みが必要です。

問い合わせ先

新見市地域包括支援センター (☎72-6209)

新見市在宅医療・介護連携支援センターまんさく (☎88-8370)



14文字
以内

認知症に関する 標語（スローガン）募集



募集内容

いずれかのイメージが連想できる認知症に関するもの

- ①「認知症について知る・考える」を啓発するもの
- ②認知症について関心を高めるもの

参考 世界アルツハイマーデー標語

2021年度「この街で 笑顔で生きる 認知症」

2018年度「認知症 つながる心が 笑顔呼ぶ」

 募集期間：令和5年9月1日～令和5年9月30日

提出先：新見市役所本庁、4支局、サンパーク新見 回収箱

優秀作品者には景品を贈呈します



問い合わせ先



新見市
NIIMI CITY

介護保険課 地域包括支援センター ☎ 0867-72-6209

切り取り線

ふりがな 氏名	年齢	歳											
住所													
電話番号													
部門：小学生 中学生 大人													
学校名													
標語（スローガン）													
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
文字数14文字以内													

認知症の人の 家族の想いを聞く

この研修会は、認知症の妻を介護してこられた家族の方による講演です。認知症の進行により様々な悩みを家族で乗り越えた体験を講話いただきます。
また、認知症の人と関わる時のポイントや、家族の気持ちの変化など、認知症専門医の講話もあります。

【開催日時】

令和5年9月9日（土）

13:30～15:30

【場所】

新見市役所

南庁舎3階大会議室

申し込み 必須

☎ 0867-72-6209
新見市役所 介護保険課



認知症市民研修会

参加
無料

定員：50名

主催：備北地域認知症疾患医療連携協議会 新見部会

共催： 新見市 NIIMI CITY 介護保険課 地域包括支援センター